

平成28年度 校内研究について

I 校内研究の基本的な考え方

◇東二番丁小学校の校内研究で目指すもの◇

昨年度までの研究を基にし、さらに優れた授業を創造・発信し、自らの授業力を高める。

◇東二番丁小学校の校内研究の特色◇

1. 研究主題に基づいた授業実践
2. 授業研究のシステム化（一人一人の教師の授業力の向上）
（「模擬授業」、「研究授業」、「授業検討会」、「授業のまとめ」の日常化）

1. 伝え合い学び合う児童の育成

◇研究主題◇

主体的に考える児童の育成

— 互いに深め合う協働的な学習を通して —

前年度は、「進んで伝え合い学び合う児童の育成」を目指して実践を行ってきた。研修日には、模擬授業、研究授業、検討会を実施し、授業研究のシステム化をはかった。児童は、教科等を問わず自分の考えを説明したり話し合ったりしながら、教科等のねらいを達成していった。また、教師の指導力も自分の授業技術課題を明らかにして研究授業にのぞんだことで指導力の向上がなされた。昨年度のサブテーマ「思考を深める手だての工夫」は3年目の取組だったが、研究授業ではテーマに迫る効果的な手だての提案がなされ、思考を高めるツールやワークシートも積極的に活用して成果を上げることができた。

今年度は「伝え合い学び合う」という研究主題から「思考すること」を中心に据え、研究をより進めていく。自分の考えを持ち、発表し合い、互いに深め合う協働的な学習を通して、より考えを発展させることができるような学習過程を構築していく。さらに個人で学習の振り返りを行い、考えを深めていく。これらの活動を通して、各教科等のねらいを達成するとともに、学び合う児童を育てていく。また、ユニバーサルデザインの視点も取り入れながら研究を深めていきたい。

「主体的に考える」とは

興味・関心を持ってよく見たり、考えたりして、自分の考えをつくりあげようとする児童の姿。自ら問題を見つけ、問題追究のために調べたり、既習事項を生かして考えたりする姿。さらに、学習の終末で自分の学習を振り返り、考えをさらに深める姿。

「協働的な学習」とは

お互いに力を合わせ、助け合いながら学習を進めていく学習。一人一人の学びをより高いものへと発展させるためにグループや全体で練り合い、深め合っていく学習。

◇研究教科◇ 各教科等

◇目指す児童像◇

課題について見通しを持ち、自分の考えを発表し合い、互いに深め合うことでより考えを発展させ、自分の考えを振り返ることができる子

◇目指す授業像◇

◇目指す児童像を具現化するための授業◇

- ① 学習に見通しを持つことができる授業（導入場面：見通しを持たせるための工夫）
- ② 児童が自ら考える授業（思考場面：考えさせるための手だての工夫）
- ③ 児童同士が話し合い、より高い考えに発展させる授業（発信・交流場面：練り合わせるための工夫）
- ④ 個人の学習を振り返り、考えを深める授業（再考場面：振り返りの工夫）

◇授業の流れ◇

（教科等によって単元での流れにもなり、1単位時間の流れにもなる。）

① 導入 → ② 思考 → ③ 発信 → ④ 交流 → ④ 再考

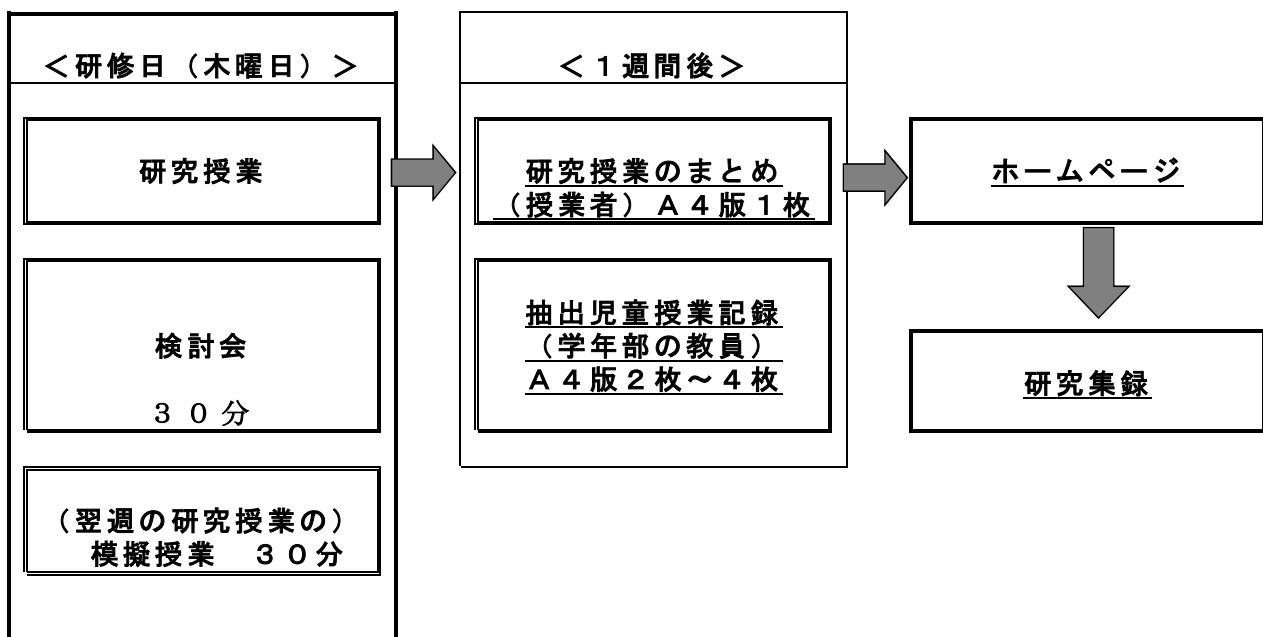
- ① 導入・・・本時（単元）の学習の見通しを持つ。
- ② 思考・・・めあてや目標、課題に対して自分の考えを持つ。
- ③ 発信・・・自分の考えと根拠を友達に分かりやすく説明する。
- ④ 交流・・・友達考えを取り入れて自分の思いや考えを修正したり深めたりすることで、集団としての考えを練り合い、発展させる。
- ⑤ 再考・・・個人で自分の学習を振り返り、考えの変化や深化に気付く。

2. 授業研究のシステム化

◇「授業研究のシステム化」とは

「授業研究のシステム化」とは、毎週木曜日を「研修日」として、「（次回の研究授業の）模擬授業」、「研究授業」、「検討会」を行うことにより、校内の教員がお互いに授業力を高め合うための一つの方法である。

具体的には、以下のような流れで行う。



- (1) 「研究授業」「検討会」について
- ① 研究授業は、一人2回を基本とし、週1回の研修日に計画的に行う。
 - ② 学習指導案は略案（A4裏表）。提案，指導計画，指導過程等を示す。「研究の視点」は設けず，めざす児童像に向けて**授業仮説的な「本時の提案」一人一人の教師の「授業技術課題」**を明記する。
 - ③ 「検討会」は16:00～16:30の30分間，「模擬授業」は16:30～17:00の30分間で行う。
- (2) 「研究授業後」について
- ① 「検討会の記録」及び「抽出児童授業記録」は，学年部の教員がまとめる。「抽出児童授業記録」は検討会で資料として活用する。
 - ② 参観者は，「研究授業参観シート」を当日中に記入し，原本を授業者に，コピーを一部研究主任に提出する。
 - ③ 「研究授業のまとめ」は，授業者が「本時の提案」，「授業技術課題」について授業の事実に基づいて具体的にまとめ，ホームページ上に公開し，多くの学校に活用していただく。
 - ④ 『研究集録』には，「研究計画」「学習指導案」「ワークシート等」「研究授業のまとめ」を入れる。
- (3) 事前の指導案検討会について
- ① 模擬授業前に学年部での事前指導案検討会を行う。日時については学年部で設定し，研究部からも参加するものとする。

◇共通の取組と授業研究の取組

共通の取組 ※確実に全職員で取り組んでいく。	研究授業の取組 ※児童の実態・先生方の個性を生かして取り組んでいく。
<p>① 「東二小版 説明・話し合い名人」の改善 ※学年部毎の「説明・話し合い」における発達課題を明確にして確実に指導する。</p> <p>② スピーチや音読の重視 ※朝の会等でのスピーチや養賢学習，授業，学校行事（野外活動や修学旅行等），朝会での発表（朗読朝会や代表児童の発表等）での音読・朗読・暗唱を重視する。 （『話す・聞くスキル』教材の活用）</p> <p>③ 家庭・地域との連携 ※学校での取組を家庭や地域に伝え協力をいただきながらコミュニケーション力を育てる。</p>	<p>研究授業計画発表会（4月） 研究授業（5月～7月） 中間発表会（7月） 研究授業（9月～12月） 研究のまとめ発表会（2月）</p>

II 補足

1 「本研究授業の提案」とは？

目指す児童像の具現化へ向けて，本時で提案したいことを具体的に明記する。

<例>・友達との交流を基に自分の考えを見直したり修正したりして自分の考えを深める。

- ・個人で考えたことをグループや学級の考えとして集約させるための手だてとして，ペア学習とグループでの話し合い活動を取り入れる。
- ・調べたことをもとにして考え，グループや学級の考えを集約させるための手だてとして，シンキングツールを活用する。

※検討会で，提案についてどうだったのかを検討会で意見交換する。

2 一人一人の教師の「授業技術課題」とは？

自分が授業をする中で課題としている授業技術を磨くために、学習指導案に自分の「授業技術課題」を1つ明記して、検討会で意見交換する。

- ＜例＞
- ・児童に伝わるようにはっきりとした話し方をする。
 - ・指示を短くする。
 - ・児童に考えさせる発問をする。
 - ・一人一人の児童が集中できるように目配りをする。
 - ・支援を要する児童が理解できるような個別指導をする。
 - ・一目で見て分かる構造的な板書をする。
 - ・ねらいを達成させるための話し合いを組織する。

3 「研究授業のまとめ」とは？

自分自身の授業を振り返る。提案や授業技術課題についてどうだったのか、検討会での意見交換や「研究授業参観シート」を参考にしながら、A4版1ページにまとめる。

- 1 児童の変容について
- 2 本時の提案について
- 3 授業技術課題について
- 4 次回の研究授業へ向けて

※「研究授業のまとめ」は、ホームページ上に公開する。

4 「東二小版 説明・話し合い名人」とは？

※学年部毎の「説明・話し合い」における各学年部の発達課題を明確にして、教室に掲示し、確実に指導する。必要最小限の課題を明記して、共通理解して取り組む。

「東二小版 説明・話し合い名人」(例)

＜低学年＞

- ・話す・・・「理由を付けて話す」「順序を表す言葉を使って話す」
- ・聞く・・・「話し手を見て聞く」「傾きながら聞く」「『同じで』、『違って』を付けて話す」

＜中学年＞

- ・話す・・・「結論＋理由＋根拠を付けて話す」
- ・聞く・・・「メモしながら聞く」

＜高学年＞

- ・話す・・・「具体例を挙げて話す」
 - ・聞く・・・「友達の発言を受けて話す」
- ※グループの話し合い方（司会や記録の役割分担をはっきりさせる。）
- ・司会「（ ）について話し合います。自分の意見を話してください。」
(全員に意見を言わせる)
 - ・司会「質問や意見はありませんか。」
(質問や意見を出させる。)
 - ・司会「話し合いをまとめると、（ ）になります。話し合いを終わります。」

7 スピーチや音読の重視

※朝の会等でのスピーチや養賢学習・授業での音読・朗読・暗唱を重視する。

4月中に『話す・聞くスキル』教材を活用し、発音、発声を徹底指導する。

さらに、養賢（音読）の時間を活用し、指導を継続する。音読朝会に向けても指導を行う。

※学校行事（野外活動、修学旅行等）や朝会での代表児童の発表なども暗唱させるなど工夫をし、校内研究との連携を図りながら指導する。

8 「お話朝会の活用」

※お話朝会の後、話の内容を5分間で箇条書きにする。

話し手は、「今日は3つのお話をします。一つ目は、○○。二つ目は、○○・・・」
3つ中3つ書ければA、2つでB、1つ以下でCなどと評価基準を設定する。

9 研究計画

- 4月・・・研究全体会（校内研究の進め方・授業実践計画について）
- 5月・・・個の研究テーマの決定・研究全体会（個の研究テーマ発表会）
- 5月～7月・模擬授業・研究授業・検討会
- 夏季休業・・・学習指導案づくり・校内研究について中間まとめ
- 7月・・・個の研究中間発表会
- 9月～12月・模擬授業・研究授業・検討会
- 1月・・・個の研究発表会
- 2月・・・次年度計画
- 3月・・・研究集録作成・研究集録印刷・製本

月 日	内 容
4月 6日（水）	研究全体会 （校内研究の進め方・研究授業計画にて）
4月 8日（金）	児童の実態把握開始
4月25日（月）	研究計画の決定・研究計画発表会資料作成
5月10日（火）	研究全体会（研究計画発表会）
5月19日（木）	模擬授業（3年）
5月25日（水）	研究授業①（3年）・検討会・模擬授業（4年）
6月2日（水）	研究授業②（4年）・検討会・模擬授業（2年）
6月16日（木）	研究授業③（2年）・検討会・模擬授業（6年）
6月23日（木）	研究授業④（6年）・検討会・模擬授業（5年）
6月30日（木）	研究授業⑤（5年）・検討会・模擬授業（あすなろ）
7月 7日（木）	研究授業⑥（あすなろ年）・検討会・模擬授業（1年）
7月14日（木）	研究授業⑦（1年）・検討会
7月28日（水）	研究全体会（研究中間発表会）
8月22日（月）	校内研究に関わる研修
9月23日（木）	模擬授業（2年）※夏休み中も可
9月28日（木）	研究授業⑧（2年）・検討会・模擬授業（6年）
10月19日（水）	研究授業⑨（6年）・検討会・模擬授業（1年）
10月27日（木）	研究授業⑩（1年）・検討会・模擬授業（3年）
11月 1日（木）	予備日
11月17日（木）	研究授業⑪（3年）・検討会・模擬授業（5年） 模擬授業（あすなろ）
11月29日（火）	研究授業⑫（あすなろ）・検討会・模擬授業（4年） ※授業づくり訪問1（指導案検討会・模擬授業）
12月 9日（金）	研究授業⑬（5年）・検討会
12月15日（木）	研究授業⑭（4年）・検討会 ※授業づくり訪問2
12月20日（火）	研究発表会準備
1月19日（木）	研究発表会
1月27日（金）	研究のまとめ提出
2月 8日（水）	今年度の研究全体についての反省
2月16日（木）	次年度の研究について

- ・研究教科：1年（算数），2年（生活科），3年（算数），4年（国語），5年（総合），6年（国語），あすなろ（体育）

- ・家庭地域との連携
 - 家庭（地域）へ研究通信の配布…家庭版の作成
HP公開
 - 授業参観で研究教科を1回は実施